

令和8年度 農業施策を西脇知事に提案

府農業会議 担い手育成や地域計画の 実現支援などを要望

京都府農業会議（栗山正隆会長）は、11月13日、「令和8年度京都府農業施策及び予算に関する提案」を行い、西脇隆俊知事、鈴木一弥副知事と意見交換した。



西脇知事（左）に提案書を渡す栗山会長（11月13日）

提案は、①担い手を確保・育成する施策、②地域農業の仕組みづくりを支える施策、③農業生産を支える施策、④地域計画の実現に向けて必要な措置、⑤各地域の課題・要望に対する支援の5本柱にまとめて行った。

担い手育成では、地域計画に位置づけられた農業者に対するきめ細かな支援をはじめ、新規就農者を迎える地域での受け入れ体制づくりの支援、半農半Xや移住者など「多様な農業人材」に地域農業への参画を促す取り組みの強化などを要望した。

地域計画の実現支援では、受け手不在の農地を団地化し、担い手や地域外からの参入希望者とのマッチングを推進する農業委員会や農業会議の活動支援を要望した。

西脇知事は、「現場で地域計画の実現に向けて活動している農業委員会や農業会議と連携して、担い手を支援していきたい」などと回答し、農業会議の提案を施策に反映する考えを示した。

京都府農林水産技術センター ほづとニエース

農林センター栽培技術開発部

府農林センターでは、大学や企業と連携してトウガラシ収穫選果台車の開発を進めている（※）。

「万願寺甘とう」産地の中丹地域では、5月から11月頃まで収穫が続くが、最盛期の真夏には、収穫と選別に多大な労力が必要になる。



開発した収穫選果台車のコンセプト機

楽しい編集会議で「農委だより」が充実！

市農業委員会



谷村委員が営む喫茶店で開いた編集会議（9月24日）

楽しい編集会議で

京田辺市農業委員会では、広報誌「きょうたなべのうぎょう委員会だより」を年3回発行している。広報アイデア委員会の委員が編集会議を毎月開き、農家以外の市民の方にも農業に興味を湧く話題を出し合っている。新鮮な発想で誌面について話し合ったため、9月の編集会議は、市役所の会議室を飛び出し、谷村雅昭農業委員が営む喫茶店「ハット」で開いた。住宅地の中にある小さなお店は、かつての蔵を改

タケノコを直売で全国に発信！

向日市 植田正幸さん



「まちてらすMUKO」で販売している野菜を紹介する植田さん

向日市物集女町の植田正幸さん（67）は、2年前に定年退職して実家の農業を継ぎ、特産のタケノコ、水稲、ナス・オクラ・レタス・チンゲンサイなどの露地野菜を約40坪で栽培している。

「向日市産タケノコのおいしさを全国の方に知ってほしい」と語る植田さんは、JAに出荷するほか、インターネットでもタケノコを直売。「都市部からの注文が多く二

女性委員が “つないで発信”

京都市農業委員会



定例総会で事業承継税制について説明する阪本委員（9月9日）

総会で事業承継税制を研修！

今後中立委

4年前に農業委員に就任した中立委員です。中ぎ支援センター」の業務小企業診断士として、産にも携わっています。9月の定例総会では、業振興と地域課題解決の両面で企業や団体を支援しており、本年度からは、私から事業承継税制について説明しました。地価

京都スマート農業勉強会

12月16・17日開催

スマート農業技術の導入に役立つ勉強会が府内2会場で開催される。入場は無料で、水稻向けのスマート農業機器やサードピスの展示、衛星データやAIを活用したツール

や府内農業者の導入事例の紹介などが予定されている。現在、京都府と京都府農業会議が、参加者を募集している。

12月16日（火）に亀岡会場（京都府農林水産技